

輸出事業計画

※申請者名：株式会社岡直三郎商店、品目：ミックススパイス・醤油

1. 輸出における現状と課題

【製造及び加工】

- ・ 地域や国ごとに異なる規制に対し、柔軟な対応が必要である。
- ・ 食品の安全認証に対する需要が高まっているため、高いレベルでの安全基準が必要である。
- ・ コロナウィルスの拡大や世界情勢により原材料の高騰化が進んでいる。

【物流・販売】

- ・ 冷蔵保存でなければならない商品の販売を安定的に行う。
- ・ 木桶の醤油やスパイスなど商品の魅力を海外の消費者、バイヤーにより多く伝える必要がある。
- ・ 小ロットまたは少量による販売が多く、様々な容量の輸出量を増加させる必要がある。

2. 輸出事業計画の取組内容

【製造及び加工】

- ・ EU HACCPやOrganic、ハラル認証、添加物など、工場設備の現状を確認し、各国の規制に対応した認証や新製品の開発を行う。
- ・ 米国FDAに準拠したラベルの作成を行う。
- ・ 2022年9月に取得したFSSC22000の認証の更新を継続し、世界基準の安全を求め続ける。
- ・ 仕入先とコミュニケーションを密にとり、関係をより強化し、安定した原材料の仕入れを行う。

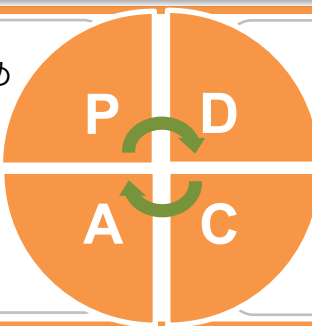
【物流・販売】

- ・ 冷蔵保存が必要な生揚げ・しょうゆの輸出について、リーファーコンテナの採用に取り組む。
- ・ 国内外の展示会、販売会に積極的に参加し、EU、アジア、アメリカに対する販路を拡大する。
- ・ JETROのオンライン商談会や全国醤油工業協同組合連合会と連携を取り、商談会や展示会に参加する。
- ・ 小売用の少量の販売だけではなく、業務用の大容量の輸出を進め、販売量を増加させる。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

現地テスト販売の実績及び輸出商社からのニーズ情報等に基づき、直接輸出も含めたスキームによる小売・業務用向け双方への販路開拓を踏まえた輸出計画を検討

現地バイヤーからのフィードバック等を踏まえて、商品及び流通ルートの改善に着手



計画に基づき、商談機会の増加に向けて、生産設備の整備・強化等に取り組み、輸出先国のレギュレーション対応を進め、輸出を実施

輸出の進捗状況について、JETROや自治体、金融機関、輸出商社等の評価・アドバイスを踏まえ、必要に応じ、計画を見直す

4. 輸出目標額

	【現状】 (2021年9月期)	【目標】 (2027年9月期)
輸出額	32万円	5,500万円
主な輸出先	香港・米国・EU・カタル	米国・EU・香港・カタル・UAE・カナダ・タイ

- ・ 目標額の内訳は、商品別でミックススパイス 86%、有機醤油14%
- ・ 2021年度は主にテスト販売の実績